

# 宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和6年第36週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (36 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	結核性リンパ節炎	右頸部リンパ節腫脹
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	20歳代	女	—	水様性下痢、O157(VT2)
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	延岡	40歳代	男	—	ショック、腎不全、軟部組織炎、全身性紅斑性発疹
		宮崎市	0~4歳	男	先天梅毒	髄液細胞数増加、鼻汁、鼻閉、胎児発育遅延
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、梅毒性パラ疹
	梅毒	宮崎市	60歳代	男	無症状病原体保有者	なし

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 791 人(定点当たり 20.9)で、前週比 94%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及びヘルパンギーナであった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 179 人(3.1)で、前週比 63%と減少した。延岡(7.3)、都城(4.0)、高千穂(4.0)、中央(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

##### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

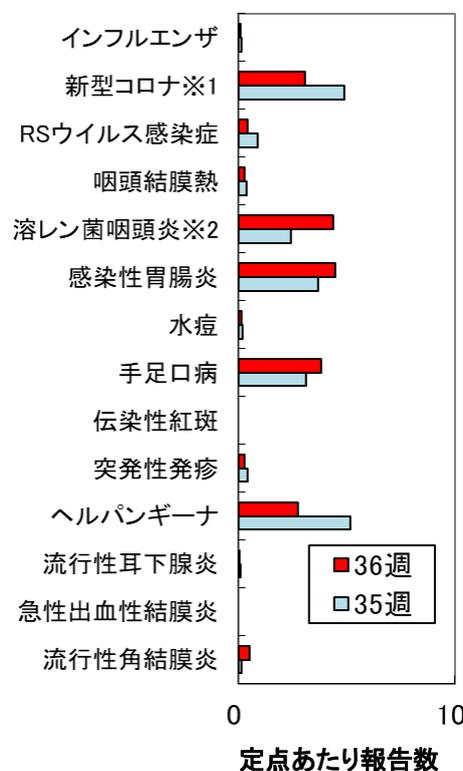
報告数は 157 人(4.4)で、前週比 178%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.4)の約 3.2 倍であった。日南(7.7)、高鍋(7.3)、宮崎市(5.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 5 歳から 8 歳が全体の約半数を占めた。

##### 【手足口病】

報告数は 137 人(3.8)で、前週比 121%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.1)の約 1.8 倍であった。日南(8.0)、宮崎市(5.6)、延岡(5.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

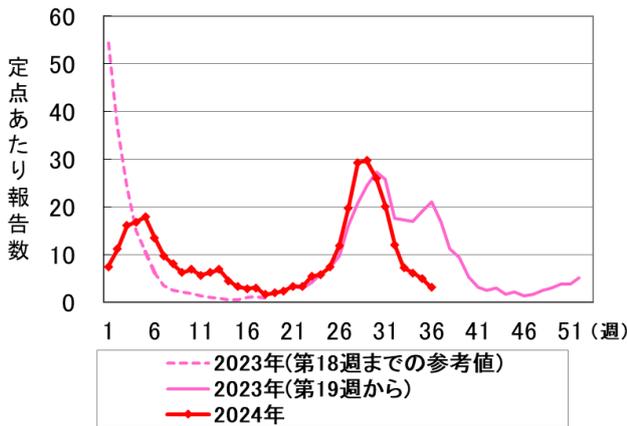
《前週との比較》



※1 新型コロナウイルス感染症

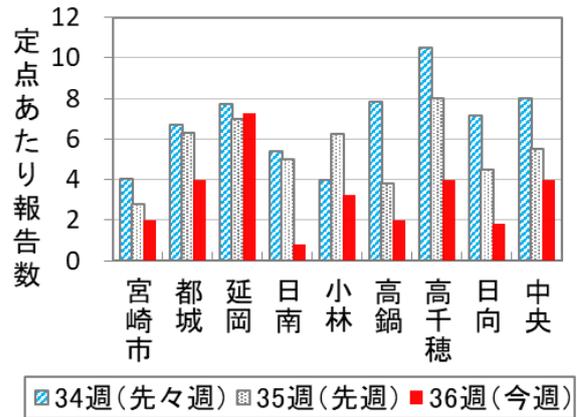
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

### 新型コロナウイルス感染症 発生状況

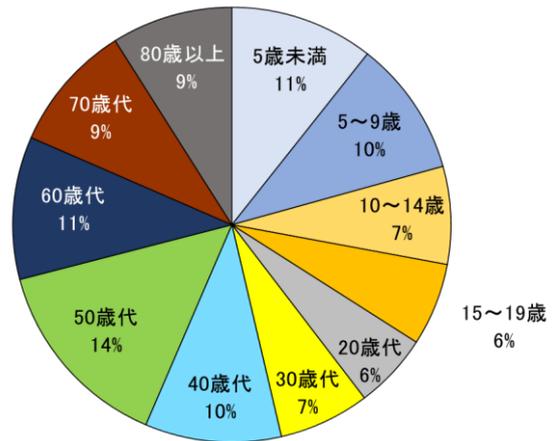


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

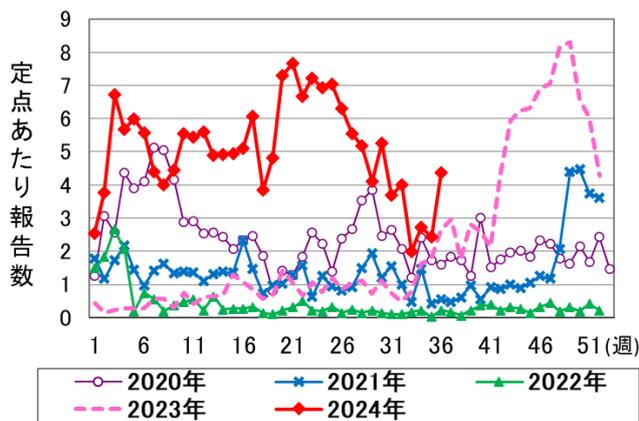
### 新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



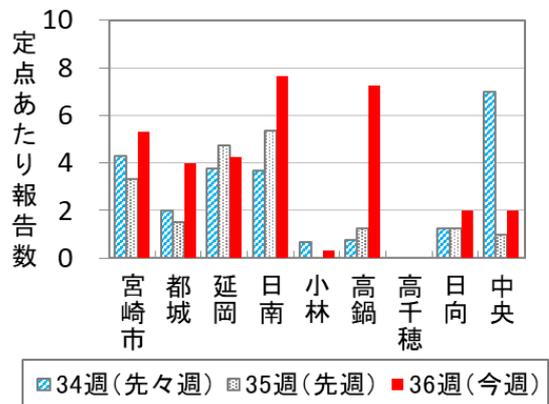
### 新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第36週)



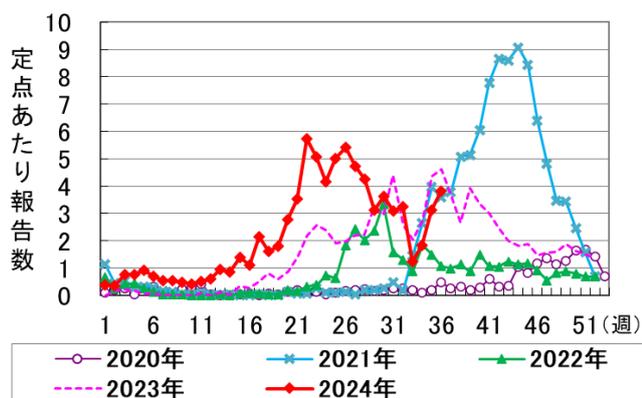
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



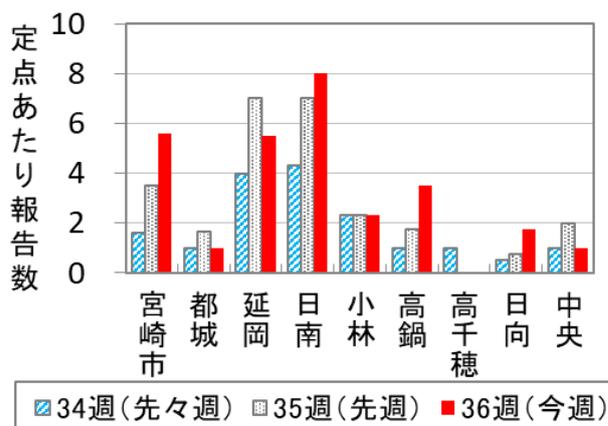
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



### 手足口病 発生状況



### 手足口病 保健所別推移(3週分)



#### ★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：高鍋(2例)、宮崎市(1例)、延岡(1例)保健所から報告があった。年齢は10～14歳が3例、5～9歳が1例であった。

#### ★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

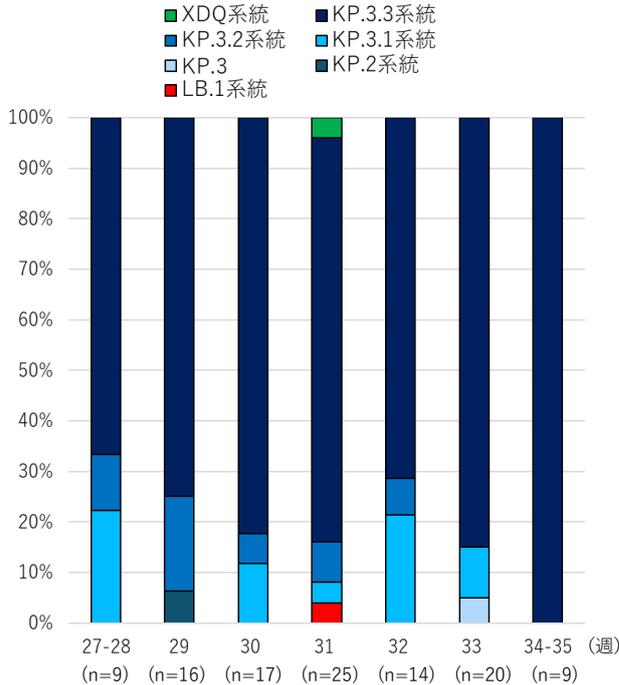
保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(5.6)
都城	なし
延岡	手足口病(5.5)
日南	手足口病(8.0)、ヘルパンギーナ(8.3)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

#### \*流行警報レベル開始基準値\*

- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

## □新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第34-35週は全てがKP.3.3系統であった。

※KP系統はJN.1.11.1の子孫株で、現在、日本、欧米で流行している。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

## ✚ 全国 2024 年第 35 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	257 例				
3類感染症	細菌性赤痢	6 例	腸管出血性大腸菌感染症	139 例	腸チフス	4 例
	E型肝炎	10 例	A型肝炎	4 例	つつが虫病	1 例
4類感染症	デング熱	14 例	日本紅斑熱	20 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	43 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	45 例
	急性脳炎	14 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	17 例	後天性免疫不全症候群	8 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	14 例	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例	水痘(入院例)	7 例
	梅毒	228 例	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	92 例		

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 36,891 人(7.5)で前週比 85%と減少した。岩手県(15.4)、青森県(14.5)、福島県(13.5)、山形県(13.5)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約2割を占めた。

手足口病の報告数は 17,872 人(5.7)で前週比 134%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.7)の約3.3倍であった。富山県(9.9)、滋賀県(9.6)、山形県(9.4)からの報告が多く、年齢群別では1歳から4歳が全体の約7割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

## 宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第36週(09月02日～09月08日)

疾病名		第35週	第36週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	10	7	3		4						
	定点当り	0.17	0.12	0.19	0.00	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	284	179	32	40	51	4	13	12	8	11	8
	定点当り	4.90	3.09	2.00	4.00	7.29	0.80	3.25	2.00	4.00	1.83	4.00
RSウイルス感染症	報告数	32	16		7				4		4	1
	定点当り	0.89	0.44	0.00	1.17	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	14	11	4	4			2			1	
	定点当り	0.39	0.31	0.40	0.67	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	88	157	53	24	17	23	1	29		8	2
	定点当り	2.44	4.36	5.30	4.00	4.25	7.67	0.33	7.25	0.00	2.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	133	161	43	25	3	19	22	18	3	20	8
	定点当り	3.69	4.47	4.30	4.17	0.75	6.33	7.33	4.50	3.00	5.00	8.00
水痘	報告数	7	6	3	1				2			
	定点当り	0.19	0.17	0.30	0.17	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	113	137	56	6	22	24	7	14		7	1
	定点当り	3.14	3.81	5.60	1.00	5.50	8.00	2.33	3.50	0.00	1.75	1.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	16	10	3	1			3	2			1
	定点当り	0.44	0.28	0.30	0.17	0.00	0.00	1.00	0.50	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	186	99	27	4	15	25	4	12		11	1
	定点当り	5.17	2.75	2.70	0.67	3.75	8.33	1.33	3.00	0.00	2.75	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	1		1							
	定点当り	0.08	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	3	1	2							
	定点当り	0.17	0.50	0.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	3	4	1		1			2			
	定点当り	0.43	0.57	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	2.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～36週 保健所受理分)

2類感染症	結核	76例(1)		
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	30例(1)	
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	8例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12例(1)	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	13例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	2例
			重症熱性血小板減少症候群	7例
			レジオネラ症	10例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
			梅毒	109例(3)
			百日咳	39例

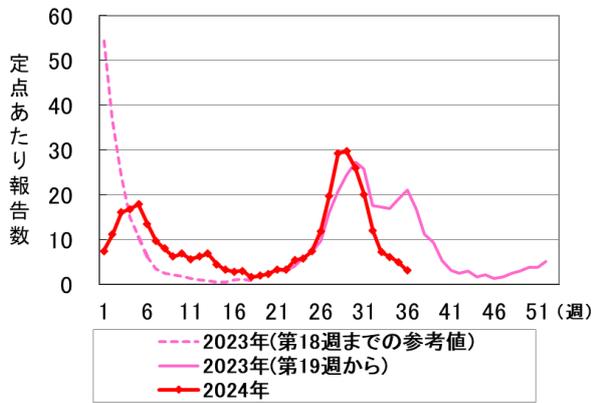
( )内は今週届出分、再掲

# 新型コロナウイルス感染症情報《県内第36週、全国第35週（再掲）》

## □ 県内第36週 新型コロナウイルス感染症発生動向

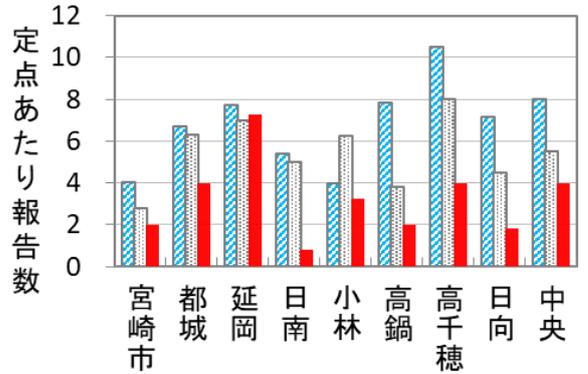
9月2日～9月8日までの1週間で179人(3.1)の報告があった。前週比63%と減少し、延岡(7.3)、都城(4.0)、高千穂(4.0)、中央(4.0)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況



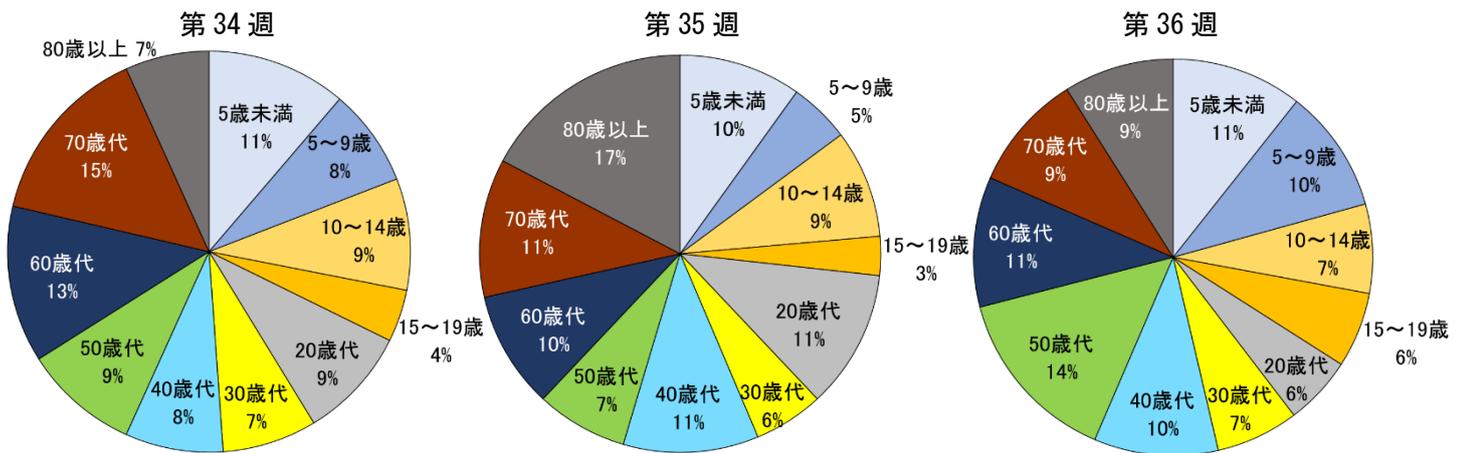
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

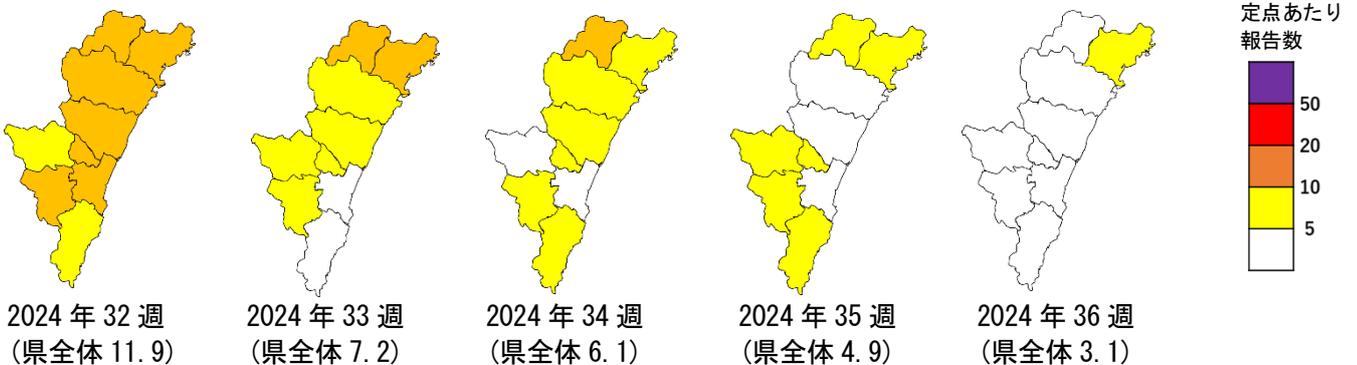


■ 34週(先々週) ■ 35週(先週) ■ 36週(今週)

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第32週～2024年第36週



\* 県独自の基準によるもの

## □ 全国第35週 新型コロナウイルス感染症発生動向

8月26日～9月1日までの1週間で36,891人(7.5)の報告があった。前週比85%と減少で、岩手県(15.4)、青森県(14.5)、福島県(13.5)、山形県(13.5)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約2割を占めた。